

# 令和7年度 第2回企画展示

## 第七九振武隊員が綴った言の葉

— 家を出発する時、台所でお母さんが涙を流されたのが東京にいる間中、頭に焼きついて、あの頃どんなにかかえりたかった事かできませんでした —

— 日本一の幸福者、新平最後の親孝行に何時もの笑顔で元気で出発致します —

佐藤新平『留魂録』『遺書』より



**展示期間** 令和8年2月21日（土）から  
令和8年5月24日（日）まで  
※休館日を除く  
**開館時間** 午前9時から午後4時30分まで  
**入場料** 無料



桶川飛行学校平和祈念館

〒363-0027

埼玉県桶川市大字川田谷2335番地の16

電話：048-778-8512

Mail：hikogakko@city.okegawa.lg.jp

○電車でお越しの場合

JR高崎線桶川駅西口より東武バス「川越駅行き」乗車→  
「柏原」バス停下車 徒歩5分

○車でお越しの場合：桶川北本ICより車で10分

県道12号線太郎右衛門橋の側道へ入る。

# I. パイロットを夢見た少年

しんぶ

第七九振武隊は、桶川分教場で特攻の訓練をしていた特別攻撃隊です。

さとうしんぺい

第七九振武隊隊員の一人である佐藤新平氏については、その手記や写真が今も残っています。

佐藤新平氏は1921(大正10)年、岩手県気仙郡住田町に次男として生まれます。飛行機に憧れた佐藤新平氏は18歳の時に逓信省仙台地方航空乗員養成所に入所します。



養成所時代の佐藤氏

# II. 分教場でのひと時

航空乗員養成所を卒業後は、民間の操縦士等になるはずだった佐藤新平氏ですが、太平洋戦争が始まったことにより軍に編入されることとなります。

入隊後は熊谷陸軍飛行学校で訓練を積み、館林分教場で助教を務めるなど、飛行兵の教育に務めます。

館林では地元の人との交流もあり、館林を離れた後も手紙のやりとりをしています。



訓練の様子

# III. 出撃前に綴られた想い

1945(昭和20)年3月、佐藤新平氏は特別攻撃隊に任命され、他の隊員とともに桶川分教場で訓練に励みます。そして、特別攻撃隊に任命されてから桶川を出発するまでの間、『留魂録』と題した日記を記します。

同年4月5日、桶川を出発した第七九振武隊は4月7日に鹿児島県の知覧飛行場に到着。4月16日、沖縄へ向けて出撃し、佐藤新平氏も帰らぬ人となりました。



桶川分教場を出発する直前の第七九振武隊

## 関連企画

### ○職員による企画展示の解説

開催日：令和8年 3月1日(日)、3月20日(金・祝)、3月22日(日)

4月11日(土)、4月25日(土)、4月29日(水・祝)

5月2日(土)～5月6日(水・休)、5月23日(土)

時間：午後2時30分より(所要時間：約30分)

定員：各回20名(先着順)

費用：無料

申込み：開催日前日の午後5時までに電話、メールまたは直接桶川飛行学校平和祈念館窓口にて申し込み。